

# 災害から命を守る

問い合わせ先 本庁舎危機管理課 TEL 0857-20-3127



今年8月の大雨による土砂崩れ (佐治町地内)

昨年9月の大雨による河川氾濫 (福部町地内)

平成7年に阪神淡路大震災、平成23年には東日本大震災が発生し、甚大な被害をもたらしました。今年8月には台風第11号・12号の影響により全国各地に大雨が降りました。広島市では8月19日からの豪雨による大規模な土砂災害が発生し、甚大な被害が発生しました。自然災害はいつ・どこで起こるかわかりません。災害を知り、自分が住む地域を知り、日ごろから備えることが重要です。災害から命を守るのは自分自身です。

## 日ごろから備える

災害から身を守るためには、一人ひとりが災害に対して日ごろから備えておくことが重要です。「鳥取市総合防災マップ」や鳥取県が公開する「とっとりWebマップ」などで、自分の住んでいる地域内の土砂災害警戒区域などの災害危険区域を確認し、いざというときの避難場所や避難経路を考えておきましょう。自分や家族の安全は自ら守る(自助)ことから始まります。食料品

や飲料水、生活に必要な物資は各家庭でも備蓄しておきましょう。持ち出しやすい事も重要です。また、家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所を事前に決めておきましょう。そして、自分たちの地域は自分たちで守る(共助)ために、実際に起こりそうな災害や地震を想定して、避難訓練や消火訓練などの防災訓練を地域で実施しましょう。また、地域にお住まいのみなさんは積極的に訓練に参加しましょう。

## 総合防災マップ・防災ハンドブックをお持ちですか？

平成24年12月に総合防災マップ、平成25年9月に防災ハンドブックを作成し、市報と一緒にみなさんのご家庭へお届けしています。今一度お手元にあるかご確認をお願いします。お手元にない方は、市役所本庁舎4階危機管理課までお越しください。



平成24年12月作成 鳥取市総合防災マップ 【掲載内容】  
▷洪水、土砂災害、地震・津波について  
▷防災マップ(お住まいの地域により掲載内容が異なります。)



平成25年9月作成 鳥取市防災ハンドブック 【掲載内容】  
▷災害時の注意点  
▷情報の伝達経路と入手手段  
▷非常持出品・備蓄品チェックリスト など

## 緊急時の連絡方法、非常持出品・備蓄品の確認をしましょう！

わが家の防災メモ			
避難場所		家族が離ればなれになったときの集合場所	
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

### 緊急時の連絡方法を確認しよう

災害直後は電話などがつながりにくくなります。大規模な災害が発生した場合には、NTTや各携帯電話会社が伝言ダイヤルやインターネット上で伝言板の提供を開始しますので、活用しましょう。

※災害時以外にも、体験利用日に使用方法を確認できます。【体験利用日】毎月1日、15日、防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)、正月三が日(1月1日~1月3日)、防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

**災害用伝言ダイヤルの利用方法**

伝言の録音方法  
**171→1**→被災地の人の電話番号(市外局番から)

伝言の再生方法  
**171→2**→被災地の人の電話番号(市外局番から)

**携帯電話の災害用伝言板の利用方法**

各携帯電話会社ウェブサイトのトップ画面から「災害用伝言板」(ドコモは「災害用安否確認」)を選択

伝言板の登録方法  
「登録」を選択→メッセージを入力

伝言板の確認方法  
「確認」を選択→被災地の人の携帯電話番号を入力  
※PHSやパソコンでも確認できます。

### 非常持出品・備蓄品チェックリスト

非常持出品は家族構成を考えて必要分を用意し、すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう！災害発生時に最初に持ち出す非常持出品と、最低3日分の非常備蓄品を用意しておきましょう。

■非常持出品チェックリスト		■非常備蓄品チェックリスト	
品物	チェック欄	品物	チェック欄
非常食(乾パン、缶詰など)	<input type="checkbox"/>	食品(缶詰、レトルト食品、インスタント食品など)	<input type="checkbox"/>
飲料水	<input type="checkbox"/>	飲料水(1人あたり1日3ℓ)	<input type="checkbox"/>
懐中電灯(ろうそく)、携帯ラジオ、予備電池	<input type="checkbox"/>	燃料(卓上コンロ・固形燃料など)	<input type="checkbox"/>
ライター(マッチ)	<input type="checkbox"/>	調理道具(鍋、包丁など)	<input type="checkbox"/>
ナイフ、缶切り	<input type="checkbox"/>	簡易食器(割り箸、紙皿・コップなど)	<input type="checkbox"/>
医薬品、持病薬	<input type="checkbox"/>	使い捨ての手ぶくろ、ラップ	<input type="checkbox"/>
貴重品(通帳・印鑑など)、健康保険証、現金	<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/>
着替え、タオル	<input type="checkbox"/>	携帯トイレ	<input type="checkbox"/>
ティッシュペーパー(ウェットタイプも)	<input type="checkbox"/>	毛布(寝袋)	<input type="checkbox"/>
ビニール袋、新聞紙	<input type="checkbox"/>	ティッシュペーパー(ウェットタイプも)	<input type="checkbox"/>
家族の写真	<input type="checkbox"/>	洗面用具、タオル	<input type="checkbox"/>

こんな用意も必要です

<p><b>女性・妊婦</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生理用品等</li> <li>ポンチョ</li> <li>色のついたビニール袋</li> <li>ホイッスル</li> <li>母子手帳</li> <li>新生児用品</li> <li>産前産後用の下着</li> </ul>	<p><b>乳幼児</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ関連(おしりふきやビニール袋)</li> <li>ほ乳瓶、粉ミルク、水、燃料</li> <li>離乳食、スプーン</li> <li>だっこひも</li> <li>バスタオル</li> <li>玩具</li> <li>ガーゼやハンカチ</li> <li>石鹸</li> </ul>	<p><b>高齢者・障がい者</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ関連</li> <li>介護保険証や障害者手帳</li> <li>杖などの補助具</li> <li>持病薬</li> <li>入れ歯関連</li> <li>おかけなどの柔らかいレトルト食品</li> </ul>
---	---	--

### 【平成26年の大規模災害】

- ◆2月 発達した低気圧による東日本での大雪・暴風雪
- ◆7月 台風8号、梅雨前線による九州・沖縄地方での大雨・暴風
- ◆8月 台風11・12号と前線による大雨

**災害を知る**

地震・津波・洪水・土砂災害など、自然災害はいつでもどこでも起こる可能性があります。各地で発生している災害は決して人ごとではありません。現代の科学では、災害の発生を確実に予測することや被害の発生を完全に防ぐことはできません。しかし、災害発生メカニズムや予想される被害の程度を知ること、災害が発生した場合に速やかな避難の準備や冷静な行動をとることが出来ます。

地震は、震源に近いほど発生から地震波の到達までの時間が短く、被害が大きくなります。洪水にあつては、急激な雨により、小さな河川はすぐに増水し、大きな河川では、ひとたび氾濫すると大きな被害となります。雨がやんでも上流で降った雨が時間をかけて流れてくる場合もあり、注意が必要です。土砂災害は、雨が降り続けると、激しい雨により一瞬で起こることがあります。

自分の住んでいる地域にはどのような危険があり、いざという時に、どうすれば必要な災害情報を入手できるのか、どのような行動をとるべきかなどについて、家族や地域で考えておきましょう。